Ninox scutulata

# (フクロウ目)

兵庫県ランク:B 繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:調 環境省ランク:指定なし

#### 種の概要

亜種アオバズクは北海道、本州、四国、九州で夏鳥。別 亜種リュウキュウアオバズクは沖縄に留鳥として分布する。兵庫県では主に4-11月に見られる。平地から山地の 林に生息し、樹洞や材木の隙間に営巣する。営巣できる 環境があれば、市街地の社叢林や屋敷林でも繁殖し、また巣箱も利用する。昼間は茂った枝葉の中で休み、夜間に主に昆虫類や小型の哺乳類、小鳥類を捕食する。

### 国内分布

北海道、南千島、本州、栗島、佐渡、舳倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、(西宮市)、洲本市、(伊丹市)、(相生市)、豊岡市、(加古川市)、(宝塚市)、三木市、(三田市)、加西市、(篠山市)、養父市、丹波市、朝来市、淡路市、(加東市)、たつの市、(香美町)、(新温泉町) ※県内繁殖有

#### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

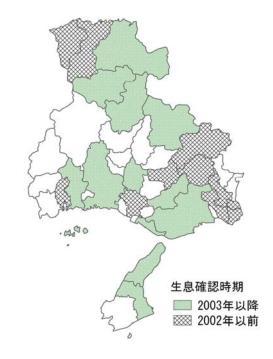
かつては県内各地に普通に生息していたが、近年はその声が聞かれなくなっている。個体数は多くない。

#### 保護上の留意点

営巣場所となる大木の樹洞が少なく、社寺林などで局地的に 繁殖するため、従来の営巣地に巣箱を架設するなど、積極的な繁殖環境整備や、社寺林の保全が重要。



写真提供:三谷康則





写真提供:三谷康則



写真提供:但馬野鳥の会